



miyuki letter

みゆきレター

Fukuyama
Heisei
University

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう。諸君は青年期のもっとも多感な時期を、勉強にスポーツにまた、アルバイトに寸暇を惜しんで取り組み、充実した生活を送られました。また、就職や将来の進むべき方向についても、ほぼ希望どおりに決まり、後は、いよいよ入社式を待つばかりになっております。特に、健康スポーツ科学科におきましては、本年度の卒業式は、第一回目の卒業生を送り出す式であり、記念すべき行事ということになります。

さて、諸君が在学した四年間には、福祉学科が社会福祉学専攻と幼児保育学専攻に分かれ、また、看護学部が新設され、第二体育館ができて、一段と賑やかになりました。他方、皆さんの大多数は、実習に参加し、資格試験に励み、また課外活動に取り組みました。その甲斐あって難しい資格試験や大学院入試に合格した人、上場

の会社に就職できた人など多数に上りました、また各種サークル活動においては、全国、中・四国地区の競技会で優秀な成績を収め、大学の活性化に大きく貢献されました。

一方必死の努力の甲斐も空しく、期待通りの成績が修められなかった人もいるかと思えます。しかし、こちらも長い目でみれば、その過程で得られる貴重な体験が将来の生活を送る上で、役にたつのであって、成功体験や失敗体験のどちらも、苦しみに耐えて、努力したという達成感や忍耐強さなどが財産となって残ると思います。

就職状況は、幾分緩和されたというものの、生き残りを賭けた生存競争は激しくなるばかりで、会社は、諸君の斬新的な考え方や、失敗に屈しない行動力に期待する傾向が強くなってきております。各職場では、諸君中心に処理されるような業務が任されたり、また、自分の判断で作業を遂行しなければならぬ事態が多いと思います。その過程では、咄嗟に難しい課題にも対処することが決められているでしょう。如何なる場合にも、場当たりに処理し

たり、逃げたりしないで、大学時代に学んだ知識や経験を総動員して熟考し、慎重に解決方法を決め、迷わないで実行に移すことが大切です。しかし、常に順調にいくとは限りません。失敗することの方が多いかもしれません。そのような場合、諸君には、粘り強く努力した資格試験の受験勉強や夏の暑い最中、グラウンドで苦しさから身に付いた「どのような苦境にも屈しない」という自負があります。仮にそれが乏しくても、失敗をおそれることなく、受けて立つつもりで、これからの貴重な人生勉強になるのですから、チャレンジ精神で邁進してください。

何といっても頑健な身体です。仕事に打ち込む為には、健康な身体が資本です。現在健康だからと過信しないで、たゆまなく身体を鍛える努力が大切です。終わりに当たり、皆さんが福山平成大学卒業生であることに誇りをもって、社会のリーダーとしてご健闘されますよう、祈念して止みません。

平成20年3月22日

福山平成大学

学長 田口 則良

卒業生に贈る言葉 自分は何が出来るのか



本日は、多数のご父母出席のもと、福山平成大学の卒業式が挙行されましたことを心よりおよろこび申し上げます。又ご父母の方々には、大変ご苦労さまでした、と付け加えさせていただきます。

このように大学生の卒業式は学生にとりましては、最後の卒業式であると同時に、ご父母の皆様にとりまして、感慨ひとしおのものがあると思います。

さて、諸君はこれから実社会に旅立たれていく訳ですが、それに当たり一言申し上げたいことがあります。

それは『自分は何が出来るのか』『自分は何をしなくてはならないのか』といったことをいつも自

問自答して行動して頂きたいということです。

例えば、企業では『お客様は何を欲しているのか』『お客様のNeedsは何か』を的確に把握し、そしてその為に『自分は何が出来るのか』『自分は何をしなくてはならないのか』ということを考えて行動してください。

そうすれば、世の中は、それ程難しいものではないと思います。

さて、明日からは思いつきり大きな夢と希望に向かって羽ばたいてください。どこでも自分を見失うことなく、自分の立てた目標に向かって頑張ってください。

皆様の前途を祝福し、健康をお祈りしています。さようなら

平成20年3月22日

学校法人福山大学

総長 宮地 尚

送 辞

在校生代表
福祉健康学部福祉科学科

篠原 望



木々の芽がふくらみ始め、迎り一面春の光があふれています。この春のよき日に学位授与式を迎えられた卒業生の皆様、本当におめでとうございます。

本日、この会場に足を踏み入れられたとき、大学生活の思い出が走馬灯のように頭の中を駆け巡ったのではないでしょう。大学生活というのは、長いようで短いものだったと思いますが、この福山平成大学に入学してから今日までの間、多くの出会いや経験をされたことと思います。それらの出会いや経験は、大学生活の良き思い出として皆様の心に深く刻まれると共に、これからの人生においても、きつと心の支えとなることでしょう。

さて、私たちを取り巻く社会環境は複雑で、多くの問題を抱えています。昨年の漢字には「偽」という文字が選ばれました。相次ぐ食品偽装の問題、政治の偽り、様々な偽りが発覚し何を信じればよいのかわからなくなり、全てのことに疑いを持つようになりました。また、幼児虐待などの事件も絶えることなく報道されています。さらに、世界に目を向けると、科学技術が飛躍的な進歩を遂げ、物質的には豊かになったものの、地球の温暖化などの環境問題は深刻になるばかりで、その解決策は見つかっていません。そして今でも紛争やテロが絶えず起こり無差別に多くの人命が犠牲となつていきます。今日この晴れの卒業式に暗い話題を取り上げるのは恐縮ではございますが、私たちが生きている世の中がこの様な暗い状況にあることを直視しなければなりません。そして、私たちは先輩方とともに、この世の中を明るくするためにしていかなくてはなりません。そのためには大人としての自覚をしっかりと持つことは勿論ですが、周囲との協調性も大切に、御幸五訓にもあるように、「生命を尊重し、自然を畏敬する心情」を持ち続けていきたいと思っています。

また、本学は来年度からは新しくことも学科が新設されるなど、毎年成長を続けています。この成長は、先生や先輩方の努力だけでなく、地域住民の方々の期待や協力もあってこそだと思っています。だから、与えられたこの環境を当たり前と思わず、感謝の意を覚えつつ、大学生活を通して私たちが他人を思いやる精神を持つて、社会に貢献できる人間に成長したいと思っています。そして、これから先輩方が築いてこられたこの福山平成大学の更なる発展のために私たちが在校生が協力して行きたいと思っています。

最後になりましたが、これまで良き先輩として私たちを導き、励ましてくださったことに心から感謝の意を表したいと思います。また、これからの先輩方の御活躍と御多幸をお祈りしつつ、在校生一同、心より御祝い申し上げて、送辞とさせていただきます。本日は誠におめでとうございます。

答 辞

卒業生代表
福祉健康学部健康スポーツ科学科 藤島 一樹



卒業生一同を代表してご挨拶申し上げます。本日はご来賓の方々、および総長先生、学長先生をはじめ教職員の方々、並びに在校生皆様のご列席のもと、かくのごとき盛大な学位授与式を執り行い頂き、誠にありがとうございます。

4年前、我々は大学への期待と将来への夢、希望を胸に本学へと入学いたしました。政治的、経済的に混乱に入っていた当時、我々に必要であったことは、社会が動く方向を見極め、そこで我々がどう生きるかを

見定めることに他なりません。この見識を持つために我々は各専攻の学問、部活動、サークル活動や社会勉強にいそしみ、本日の皆様の前で卒業を迎えるに至りました。

昨日の大企業が今日には倒産し、世界的な経済変動が明日の生活に直接影響を与える現代、そして本来は人間関係の礎である親子、兄弟で傷つけあう現代において、我々が持つべき見識は人と人とが善くつながる方法かもしれません。本学において私はバレーボール部に所属し、多くの仲間と勝利を目指して鍛錬してきました。また研究室活動を通して、勝つために必要な人間の振るまいや連鎖について知識の収集と研鑽に励んで参りました。目的や方法は違えど、本日ここに列席する卒業生の仲間も同様の見識を得て、それを磨いてきたはず

です。そういった経験をを通して、私自身が重要とすることは、具体的な目的をもつてまず自らが行動し、同じ目的をもつ仲間を理解し、そして彼らに理解してもらいながら目的を確実に達成しに行くことです。私が専攻したスポーツにおける勝利とは、ある意味、外から与えられた行動目的です。しかしここに到達する方法は人ごとに異なり、またそこに集まる集団ごとに異なります。あらゆる目的、例えばよりよい情報網の構築であっても、例えば子どもから高齢者、障害者に至るあらゆる人間に対する福祉であっても、その目的に向かって粘り強くかつ素早く行動し、その目的を共有しながら活動する仲間を作り、その目的にすこしでも近づくことが重要であるように考えます。

卒業する現在、私自身の活動成果は至らないものであったかもしれませんが、今後本学で勉強する後輩諸君にはその結果をぜひとも発展させて頂きたいと考えます。我々卒業生自身においても、未知の社会でいち早く当面の目的を見極め、先輩諸氏のご指導のもとに仲間を作り、よりよい社会を構築する努力を惜しまない覚悟であります。そして、これを実現することによって、この卒業の価値を社会全体に還元する気合いを発揮していきます。

最後になりましたが、厳しくも暖かくこの見識を植え付けて頂いた、教員および指導者の皆様、試行錯誤を共有しながら、共にこの方法を勉強した諸先輩と後輩諸君および卒業生の仲間、そして熱心にかつ確実にこの環境を整備して頂いた職員と後援会の皆様に御礼を申し上げます。

以上、今後の福山平成大学の更なる発展と皆様のご健康、ご活躍を祈って私の答辞とさせていただきます。

卒業生に贈る言葉 信念をもって一步一步前進



卒業おめでとうございます。

皆さんは、社会人としての一步一步を踏み出そうとしています。それは、家庭や大学から守られた学生という立場から、自ら道を切り開いて社会の一員として生きていくための第一歩です。また、これは人生の中で大きな節目のときでもあります。就職するということは、社会の一員となることです。いままで置かれてきた環境が大きく変わり、それに対応する必要があると思います。これは、自分自身を見つめ直すよい機会です。学生時代に気付いてきたことを生かし、自分を再認識して、自信をもって新しい一步一步を踏み出していきたいと思います。

また、経済発展においても、技術革新においても、あらゆる分野で変化の著しいこの頃です。皆さんの歩く道は、平坦な道だけではないと思います。険しい坂道があり、大きな壁が立ちはだかるかもしれません。大学で学んだことを基礎にして、常に新しい知識を吸収し、的確な判断力をもってその時の課題に対応できるように精進していただきたいと思います。そして、目標に向かって一步一步、ときには半歩しか進めなくても前進してください。私は、「挑戦」と言う言葉が好きなのですが、最近「チャレンジジャー」というとなぜかその人の行動を茶化す言葉になってしまふ風潮があつて残念です。私は、出身大学の工学部に勤めるようになった頃、数値計算で今まで難しいとされていた計算仲間達と挑戦することに明け暮れていました。一つの手法を確立するのに半年、1年

とかかりましたが、計算プログラムが完成したときの喜びは、次のステップへの大きな糧となりました。保守的なやり方よりは、挑戦的なやり方が好きでした。何にせよ、自分自身のやり方で、一步一步自信をもって前進してください。

何かの本である会社を作った人が書いていました。最初に会社を作ったのは、自己実現のため、自分の理想とすることを実行するためでした。次の段階では、家族のために会社を大きくしようと思い、社員が増えてくると社員とその家族のために会社をさらに大きくしようと考えました。最後に理想的な会社というのは社会に貢献できる、社会への還元を考える会社だと考えた。これは会社が成熟していく段階のひとつの見方だと思います。「思いやり」が大きな意味を持っています。社会に出ると、様々な人に出会います。その中にはバランス感覚に優れた人がいれば、自己中心的な人もいます。社会の一員として生きていくとき、「思いやり」をもつことでよい方向に向かうのではないのでしょうか。

最後に、宮本武蔵は究極の実利主義者として評価はいろいろあると思いますが、有名な「五輪書」の他に、武蔵の人生観を簡潔書きにした「独行書」(鎌田茂雄全訳注「五輪書」講談社学術文庫)があり、その中の「我、事において後悔をせず」という一説があります。武蔵の実利主義、合理主義からくる自信に溢れた言葉ですが、私たち、凡人にとっては、強い信念をもって生きることの大切さに置き換えられるように感じます。

みなさんの新しい人生の門出に、幸多いことをお祈りいたします。

経営学部長 坪井 始

卒業生に贈る言葉 第一期生のプライドと誇りを胸に



福祉健康学部の卒業生諸君、御卒業おめでとうございます。保証人の皆様も安堵されたことと心から御慶びを申し上げます。

皆さんが入学された、平成16年4月は丁度学部が改組された年でした。福祉学科は旧経営福祉学科からの改組として、健康スポーツ科学科は新たな発足として、この2学科からなる福祉健康学部が創設された年でした。すなわち卒業生の皆さんは福祉健康学部の第1期生であるのです。私たちは教員には第1期生に対して特別な思い入れがあるのです。それは、教室での授業をはじめ、野外実習、学部学科の行事、最後の卒論指導、そして就職の指導に至るまで全てが始めての経験であり、手探りの教育であったからです。また教員たちは「本当にこれで良かったのか」といつも自問自答し反省を繰り返しながら、本日卒業生を送り出すことができたことに満足感を感じているからです。一方、学生である皆さん方にとっては、手本となる見習うべき先輩はい

ないが、後輩からは頼られるばかりであり、いろいろな面で戸惑うことが多かったと思います。このようにして4年間に皆さんが切り開き築いたものが、今後新しい学部・学科の「伝統」として伝えられていくのです。本当に今日までよく頑張つて来られました。教員への「ちよつびりの謝意」と皆さんを育ててくれた保証人への「いっぱいの感謝の気持ち」を忘れな

いでください。そして、福山平成大学の卒業生であることの誇りと、第一期生として頑張つてた気概を忘れないでください。

4年前みなさんが入学してき

たとき私は挨拶の中で「大学生活の4年間は自分探しの期間ですよ。」と申し上げましたが、その結果は如何でしょうか。社会人になるために何かを掴んだでしょうか。自分分はどのように生きればよいのか、答えが得られたでしょうか。その答えが就職先の決定に活かされたでしょうか。社会とは厳しいものであり、決して甘えは許されないことを肝に銘じてください。

福祉健康学部長 大成 浄志

スキー実習報告

健康スポーツ科学科 講師 山下 雅彦

スキー実習が平成19年12月22日(土)から26日(水)にかけて、長野県野沢温泉村スキー場において実施され、初心者から経験者まで、これまでで最も多い75名が参加しました。レベルごとにクラス分けされた学生たちは、刻々と変化するゲレンデの状況に対応しながら中身の濃い5日間を、どのように過ごし、また何を学んだのか。学生のレポートから、その内容について紹介します。

『甘かった!』

12月の22日から26日まで、私は4泊5日の野外活動実習Bのスキー実習に出かけた。出発当日、4泊5日分の荷造りをするのは正直大変かなあと感じていたが、私にとつてこのスキー実習はずっと前からとても楽しみだったので、あんまり苦にならなく、いつもより早く荷造りを終えたことを覚えていた。しかし、まとめた荷物はとても重く、持つて歩くのはかなり嫌だなあと感じていた。そんな期待や不安を胸に私のスキー実習は始まる。

22日の21時、平成大学の2号館に集合した。今の天気は雨。長野では雪かなあと期待しながら、私たちはバスに乗り、長野の野沢温泉目指し出発した。

長野までかかる時間は予定ではバスで約10時間、その間に私たちは車内で睡眠をとる。つまり、4泊5日といっても、一泊はバスの中なのだ。乗る前までは「ちょっとしんどいだろうけど、私は寝つきの良い方なので、まあ何とか寝ることができたらいい」と思っていた。だがその考えは甘かった。実際に乗ってみると、ちよつとこころのしんどさではない!腰が痛い!!そのため何度も座り方を



変え、おおよそ1時間おきに目が覚めてしまう。途中で休憩のために止まったサービシアreaで目が覚め、窓の外を見た。私は、寒いにもかかわらず窓を開け、軽くはしゃいでしまった。そう、外はもう一面の雪景色だったのだ。私は冬が好きで、雪景色が本当に好きだった。なので、眠気も覚め長野への期待が大きく膨らんだ。そこからはだんだんと眠りににつき、目を覚ます回数も少なる。そしてバスが止まる音で目覚めると、そこは目的地である野沢ビューホテル嶋田屋であった。バスでの長い旅路を終え、睡眠不足なのに頭の中はスキーでいっぱいだった。

まだリフトで登り、先輩とバディを組んでツアーはスタートした。初級・中級がいたので、さすがに上級コースは通らないだろうと予想していた。ツアーコースのうち、昨日と同じコースには楽しい滑ることにした。また、ツアーコース途中には知らないコースもあったが、景色を見ながらの滑りはとても充実していた。ただし、余裕だったのはここまです。また知らないコースを通ることになり、先を進もうとするが前が詰まっている。するとみんなの叫び声が聞こえてきた。またしても私の考えは甘かった。目の前は、とても景色が良いが、下を見ると壁並みの急斜面。90度はあるのではないだろうか?本当に壁だ!何とかみんなで壁を滑り終えたかと思えばまた難所があり、ハラハラドキドキのスキーツアーである。中でも一番過酷だったのは最後の急斜面(壁)だった。そこを何とかクリアした時、私の心は達成感に満ちていた。途中からは恐怖心でいっぱいなツアーだったが、後から思うとすごく楽しかった。3日目はさすがにくたくたで布団に入るとすぐ寝ることができた。

そして、クラス別のスキー講習が始まった。先生の説明を聞いた後、まっすぐスキー板を開いたり閉じたりしながらボーゲンで滑る。そこまでは大丈夫だ。それからちよつとカーブを曲がった先で止まる。つもりがこける。ここからはもう大丈夫ではない。スキーを甘く見ていた。午前中は何度もこけるし、みんなに明らかに着いていけないので、その日は午後からは初級クラスに行こうかなと本気で考えるぐらいだった。午後からも私は中級クラスに残った。滑りながら途中で止まれる自信も無いのでゆつくり何回もこけながら下っていったら、逆にこけることへの恐怖心は無くなった。

野沢温泉で河野幹男村長の講演を聞き、班ごとに発表したことや、スキーをしたことはとても良い経験になった。スキー中にコースから外れて雪にはまった時はなかなか身動き取れなかったし、吹雪の中を進むことで雪山や自然の怖さに触れることが出来たと共に、雪が積もった山や木がとても綺麗な事を知ることができた。もちろん、友達とお土産を買いに何度か行った野沢の温泉街や、ホテルの部屋での友達とおしゃべりもとても楽しかった。スキー場のご飯やホテルのご飯もおいしかったし、ホテルの社長がみんなにケーキをプレゼントしてくれたことはとても嬉しかった。野沢温泉の人たちの優しさに触れることが出来て、ここに来てよかったなあという気持ちでいっぱいだった。

スキー2日目は吹雪だった。遭難したらどうしようかなあといらない心配をしながらスキー場へと向かった。少し上達し山下先生に「上手くなったなあ」と言われた時はすごく嬉しかった。中級でバディを組む、頂上からみんなと一緒に滑って降りたのは本当に楽しかった。そしてスキー3日目ついに全体でのスキーツアーの始まりだ。昨日と同じように頂上

健康スポーツ科学科3年 小林由佳

謝辞 ■ 報告の終わりにあたり、講演依頼を快諾頂いた、野沢温泉村河野幹男村長をはじめ地域研究の課題にお答えして下さった野沢温泉村在住の方々へ、この誌面を借り、感謝の意を述べさせていただきます。

税理士 合格

本学の大学院生が
税理士の資格を取得!!

経営情報学専攻に在学中の大学院生が、平成19年8月に行われた第57回税理士試験で2科目合格し、税理士の資格を取得した。

本学経営学研究科の経営法学専攻に在学中に、第55回税理士試験で税法1科目に合格し、修士課程終了により他の税法2科目免除になる。さらに経営情報学専攻に進学し、在学中に第57回税理士試験で簿記論と財務諸表論に合格し、税理士資格を取得することになった。

資格取得等において苦労した点などを質問したところ、「大学院での諸科目の履修と税理士試験の受験勉強を両立させることが大変だった。特に受験勉強で苦労したことは、簿記論は限られた時間で多数の取引を正確かつ迅速に仕訳処理することが要求されるので、さまざまな取引の仕訳を学習すること、また財務諸表論は理論と計算なので、理論を理解し、理論に基づく計算を正確かつ迅速にできるようになること」のことであった。

また、「経営情報学専攻の会計学特論は財務諸表論、演習は簿記論と対応していたので、受験勉強に役立ちました。」とのことであった。

四年間のメッセージ

学生のおもいで

経営情報学科 森 茂幹



今、大学生
活を振り返っ
て4年間を思
い出すと、正直
この4年間は
辛かったこと
の方が多かつ
たように思い

ます。勉強に、クラブに、ボランティア活動や、講義のお手伝い。4年間では本当に色々な経験をさせてもらいました。しかし、人生において、辛いことや、嫌なことの方が、後になって自分のプラスになると言うことを、今、少しだけ分かって始めています。

それは、実は嫌だった1年や2年の時のクラブの仕事や、本当は人に何かを教えるのが苦手なのに頑張った4年の時のTAの仕事を経験したからです。得たものとは、仕事で培った作業の正確さや、相手とのコミュニケーションのとおり方、目に見えたり、実際に表現できる成長ももちろんあります。しかし、今の自分から昔の自分を見て、何か恥ずかしく思える心の成長のようなものが一番大きいです。

卒業後はどうなるかは分かりませんが、辛いこと・嫌なことは必ずあると思います。でも、大学生活で学んだ、いつかは自分のプラスになると言うことを胸に頑張っていきたいと思います。

4年間の人間的成長

健康スポーツ科学科 竹本 祐



福山平成
大学に入学
して、あつと
いう間に4
年が過ぎま
した。本当に
充実した4
年間でした。

まず、野球部でのクラブ活動、最初は練習所もない、選手も少ないなど、あまりの環境の悪さに入部しないつもりでした。でも、友達に誘われ練習に参加するうちに、好きな野球に変わりたいと思い入部しました。入部した年は負け続きでした。しかし2年生で監督が就き状況が変わりました。試合に勝てるようになり、秋のリーグ戦で2位となり西日本大会へ、4年の春には優勝し、全国大会に出場することができました。

私にとって、はじめての全国大会で緊張しましたが、両大会で優勝することもでき、とてもよい経験ができました。そして、大学での講義、自分の好きな勉強ができ、全ての講義に興味を持って学ぶことができました。学んだことは社会人になっても活かせると思います。ありがたいことに、学長賞を受賞できたことは、終生忘れることができます。

この大学生活で、私は人間的に大きく成長できた気がします。これから、たくさんの壁にぶつかるとはありますが、その都度本気で学んだことを活かして乗り越えて頑張りたいと思います。

4年間の思い出

ビジネス法学科 三宅 真仁



高校から大
学に進学して
いつの間にか
4年が経ちま
した。
最初はすべて
が不安でした
新しい環境で
の生活、大学生活。今となつては全てが
いい思い出、体験と思っています。

入学当時、全てが分からなく不安な中、貝田先生と市瀬先生に色々助けてもらいました。2年の頃から徐々に慣れ、サボり癖が出てきて授業をサボりがちになり、危うく「留年するかもしれない」とヒヤヒヤする時期もあり、3年はこれではいけないと思い、必死に頑張った記憶があります。

私はビジネス法学科なので3年の頃からは主に法律を学んでいて、貝田先生のゼミに入りました。今までの他の先生は自分のペースで授業をしてひたすら黒板に板書する、など、生徒としてはやりにくい授業もありました。

しかし、貝田先生の授業では、とにかく詳しく説明してくださり、自分の体験談など交えながら説明してもらったので知識が深く入り、今ではもっと勉強したいと後悔すら感じます。

そして、市瀬先生は、授業は取っていませんでしたが、1年の頃から今まで全でお世話になりました。履修の事や相談など事細かに親身になってくれて相談などを聞いてもらいました。
今はなんとか無事に卒業することができ、先生方には本当に感謝しております。

4年間を振り返って

福祉学科 平田 教子



私は中学生の頃から人と関わる仕事に就きたいと考えており、この福山平成大学の福祉学科に入学しました。今4年間を振り返ると、とても楽しく濃い時間を過ごしたように感じています。

何より印象的だったのは、社会福祉実習と保育実習です。高齢者施設に実習に行ったときには利用者の方から優しく迎えていただき、また緊張もあつてすぐにはうまく解けられなかったのですが、とにかく笑顔でいることを心がけました。実習が終わる頃に、利用者の方から「あなたの笑顔がいい」「またいつでも来て」と言っていたことが、嬉しい記憶として残っています。一方で、施設で暮らすこともたちと接し、そのこともたちの背景にある社会や家族の課題を知ったときには、とても辛い思いもしました。でもそれらの経験によって、私の「社会福祉の仕事に就きたい」、「明るくて利用者の方から信頼されるような人になりたい」という思いが強くなりました。また実習の時には、分からないことも多く戸惑うこともありましたが、友人に支えられ、励ましてもらい乗り切ることができました。

先生方にも実習で困ったことや就職の悩みなど親身になって相談に乗っていただきました。そのため前向きに考えることができて、助けていただきました。4月から、社会人になることには不安もありますが、大学で出会った素敵な友人たちに相談しながら、そして大学で学んだことを活かして頑張っていきたいと思っています。

卒業にあたり、別れの辛さや寂しい気持ちもあり複雑ですが、前を向いて進みたいと思います。お世話になった先生方や助け合った友人たちに感謝したいと思います。

卒業するにあたって

福祉学科 松原 史明



福山平成大
学を卒業する
にあたって、後
輩の皆さんに
次のことを伝えたいです。それは、幼児保育を学んでいくことは、自分自

身が日々成長していけるということと同じだということです。春からは私は地元の保育園に就職しますが、すでに研修という形で働かせて頂いている間にも思いました。同じことは、実習でも感じたことと記憶しています。昨日まで縄跳びが1回しかできなかった子が、次の日には2回になっていたり。ケンカになるとすぐに手が出ていた子が、今度はグッとこらえて口で思いを伝えたり。各々小さいことかもしれませんが、一人ひとりの子どもにとっては、それはそれはとても大きな成長なのです。

そうなることができたのも子どもの頑張りと保育士の励ましとが相まって大きな力となったのです。皆さんはその半分の大切な役割を担おうとされています。さきほどのことと同じですが、子どもを援助しているのは事実ですが、同時に保育士(のタマゴ)として自分自身を援助しているのではないのでしょうか。

どんなことがあっても保育園で見られることを大人や保育士の目の高さから見えてしまつと、それほどのことではない子ですが、視点を子どもの目の高さに置くと今まで見えていなかったことが見えてくることがあります。「ははあん、こんなふうにとらえて頑張ってるんだ」と、子どもにも気付かされ、考え直させる事柄はたくさんあります。そんなことができる中で、保育士として自分を磨いているのだということを忘れないでください。

サークル活動

ダンス部 瀬川 由梨



先輩と友
人で設立し
たダンス部は、
初めは3人
という少人数でサークルとは言えない集まり

でした。しかし、しつかりとサークルとして活動して行きたいという一心で、3人で力を合わせ、各自で声掛けや1年生のオリエンテーションに参加し勧誘に励んだり、ポスターを作成するなど努力しました。

その結果、少人数ではありましたが人数が増え、サークル活動といえるくらい成長しました。活動人数が増えたことによって、文化祭でのダンス発表が出来、人と人の繋がりを広く持つことができるようになり、校内にとどまらず、他の大学とも連携がとれるようになり、皆で企画し力を合わせ、協力し合つて施設を借りて発表会が開けるまでになりました。

初めは人数が増えなかったらどうしよう、踊りが覚えられなかったらどうしようなどと、不安が絶えませんでした。たが、ダンス部での活動を通して、改めてダンスをする楽しさ、皆で心を一つにし、振りが全員きまつた時の感動、諦めないことの大切さ、目標に向かって懸命に努力するからこそ、得られる達成感、これからの私の財産になつていくと思います。

サークル活動

シグマソサエティ代表 林田 尚也



創設当初は、なかなかメンバーが集まらず大変でした。しかし、様々な人達に声をかけていくことにより、少しずつメンバーが増えていき、活動の幅を広げていくことが出来ました。

ボランティア活動や地域の行事による交流、バルーンアート企画や学園祭等、様々な活動を通して日頃会う機会が少ない方々と交流を持つことが出来ました。さらに活動が続けていくことによって、地域の方々との交流の輪が広がり、創設当初は全く知られていなかったシグマソサエティという名前が、今では多くの方々から認知されるようになりました。

そして、ボランティア先で喜んでもらえること、ボランティアの依頼が増えていくことで、自分たちの中に充実感や自信が湧いてきました。

このようなサークル活動を通して、人と人との絆の大切さを学び、今後、社会で活動していく際には、サークル活動で培ったことを活かしていきたいと思っています。



「考動力」サークル活動

男子バレーボール部主務 船岡 勇太



僕は4年間バレーボール部で主務の仕事をしてきました。本学のバレーボール部は「学生主体」で活動して

います。松井監督の唱える「考動力」(自主性)自分から考え行動し、社会に出ても通用する大人になる!という言葉がモットーとなっています。

監督の考えを聞き、力を借りながら、主務・副主務・主務・学生コーチが中心となり練習メニューを組み立ててきました。自分達で考えたメニューなので楽しい練習を想像するかもしれませんが試合で勝つために、自分達で辛い練習を行い、厳しい環境を乗り越えてきました。時には喧嘩や対立のような出来事もありましたが、ミーティングなどで会話をして自分達で解決してきました。学生主体を主として結果に結びつけたのが、5月に行われた中国四国インカレでした。決勝までは順調に進み、迎えた相手はライバルの東亜大学。こちらは主務が教育実習で抜け、厳しい戦いとなりましたが見事に初の栄冠を手に入れることが出来ました。続いて行われた西日本インカレでも初のベスト4。12月の全日本インカレでは、負けはしたものの、前年度優勝の東海大学をあと一歩まで追い込むなど、監督と学生スタッフ、選手一同がチーム一丸となり考えて動いていった結果だと思っています。

ここで学んだことを決して後悔はしていません。人生のプラスとなる時間として過ごせたことをありがたく思います。来年度以降も、良い伝統として「学生主体」を掲げ、夢へ向かって歩み続けて欲しいと思います。

■平成19年度 進路状況

平成20年2月29日 現在

学 科	卒業者数	就職内定者数	進学者数	その他
経営情報学科	63	56	4	3
ビジネス法学科	4	4	-	-
経営福祉学科	4	4	-	-
福祉学科	71	58	2	7
健康スポーツ科学科	81	74	4	1
経営学研究科	2	2	-	-
合 計	225	198	10	11

就職 進路状況

■平成19年度 進路先一覧

経営情報学科		経営福祉学科／福祉学科		健康スポーツ科学科	
(株)アイレックソハード 一井工業(株) (株)エースシステムズ 映クラ(株) (株)栄工社 大村産業(株) 香川県警 カナダ(株) キャスト(株) (株)キング食品 光和物産(株) (株)サカイ引越センター 佐藤農機製造(株) (株)サンエス (株)シマダオール 下平管材(株) J F E環境(株) 総合警備保障(株) (株)外林 (株)太央 大和冷機工業(株) ナカウ(株) (有)ハウジングセンター・セオリー (株)日之出運輸 (株)ファイブフォックス 富士ソフト(株) (株)レオパレス21 (株)ワッツ	【留学生】 アシード(株) (株)アベックス インターナショナル 綾目精機(株) (有)栄和製作所 NPOアジア文科学術 交流事業団 岡本工機(株) ジャパンビルド(株) (株)太央 天山国際交流協同組合 ニットサプライ(株) (株)ペルゴ ビッグボーン商事(株) 備後通運(株) (株)福山工作所 (株)ワッツ	(株)アタックコーポレーション (株)インディップ (株)恵木製作所 (株)エブリィ (株)オール5 (株)K G情報 (株)サカイ引越センター 昭和陸運(株) (株)玉造 ダブルトライズジャパン(株) (株)なかやま牧場 (株)ナツメダ (株)日産サティオ (株)日本エンジニア 二村自動車(株) ビッグボーン商事(株) 備後青果(株) 丸果三原合同青果(株) 丸協運輸(株) (株)マルゼン ミシマ(株) 宮地 (株)モンテカルロ ヨシディア(株) (株)レオパレス21 ワタキューセイモア(株)	(有)アイ薬局 (有)アイケイユウ メディカルサービス (社)福一れつ会 (有)オリーブハウス (社)福宏喜会 特別養護老人ホーム幸楽園 (社)三瓶福祉会 ひまわり保育園 (社)昌和福祉会 千田西保育所 (医)社紅十字会 聖ラザロ病院 (学)白百合学園 新高山めぐみ幼稚園 (社)純愛福祉会 さくら保育園 (医)社せのがわ 瀬野川病院 (社)福ゼノ少年牧場 (社)福住会 手城保育所 (株)ディア・レスト福山 (社)福虹福祉会 瀬戸保育所 府中たんぽぽ園 (社)福春海会 (社)福広島同胞援護財団 子供の家三美園 (社)福豊美会 特別養護老人ホーム 福山福寿園 (社)福育生福祉会 まつい保育所 (社)福摩耶会 まや保育園 (社)福緑寿会 特別養護老人ホーム 新山荘 ゆうゆう(株) (社)福湯野福祉会 みどり保育園 (社)福六方学園	(株)アタックコーポレーション アプライド(株) イワタニ山陽(株) 駅家リハビリテーションSAKURA (株)S F C G (株)エヌテック (株)愛媛銀行 エルバック教育図書センター(株) 岡山県美術高等学校 (株)オフィスコーポレーション (株)カンサイ (株)ガルバ興業 キャスト(株) (株)河合楽器 キングパーツ(株) (株)啓伸 国興産業(株) 寿スピリッツ(株) 佐川急便(株) サン・フィールド(株) (株)さんびる (株)シー・エム・ジー シーピー化成(株) シンレキ工業(株) J F Eスチール(株) J F Eメカニカル(株) 総合警備保障(株) (株)体育社 タカオ(株) (医)辰川会 (株)タニーバック (株)大昌 大和冷機工業(株) 中国機材設備(株) (株)土屋ホーム	トヨタカローラ広島(株) 鳥取県警 (株)ナンバ 西日本キャタピラー 三菱建機販売(株) N E X U S (株) (株)伯和 橋本食品(株) (株)バル・バルスポーツクラブ (株)ハローズ (株)日之出運輸 (財)広島原爆被害対策協議会 福岡県警 福山市役所 福山YMCAウェルネス スポーツセンター 藤井商事(株) (株)古川製作所 ブリヂストンタイヤ 中国販売(株) (株)ホーコス (株)本多 (有)山吉工業 (株)横田運動具店 (株)ルネサンス 嶺北消防署 (株)レオパレス21
	【進学者】 岡山大学大学院 福山平成大学大学院				
	ビジネス法学科 映クラ(株) 大和冷機工業(株) 備後青果(株) (財)山口県予防保健協会				
	【進学者】 東京製菓専門学校				
	大学院経営学研究科 川村尚税理士事務所 三菱電機(株) 福山製作所				
					【進学者】 大阪教育大学院 大栄教育システム 鳴門教育大学大学院 広島大学大学院

就職活動 第一歩

大学主催合同企業セミナー開催

毎年、企業からの早期内定を確保する目的で、広島・岡山県内の優良企業を中心に大学へ人事採用担当者を招き、大学主催合同企業セミナーを開催している。今年も、2月14日(木)・15日(金)の2日間、本学図書館2階で開催され、参加企業は

2日間で68社、採用担当者は96名。本学学生が各企業ブースへの訪問延べ数568名であった。企業ブースへ訪問した学生は、ほとんどが3年生で就職活動は今回が初めて。緊張した趣で人事採用担当者の話を聞き、メモを取っていた。



第11回 学位記授与式



学科名		卒業者数
経営学部	経営情報学科	63名(10)
経営学部	ビジネス法学科	4名(0)
経営学部	経営福祉学科	4名(0)
福祉健康学部	福祉学科	71名(30)
福祉健康学部	健康スポーツ科学科	81名(15)
大学院	経営学研究科	2名(1)
合計		225名(56)

学生表彰

【学長賞】

経営情報学科 佐藤嘉彦	佐藤君は、本学において特に優秀な学業成績を修め、他の学生の模範となりました。
ビジネス法学科 西尾雅智	西尾君は、本学において特に優秀な学業成績を修め、他の学生の模範となりました。
福祉学科 三根卓	三根君は、本学において特に優秀な学業成績を修めるとともに地域の社会福祉活動をはじめとする多くのボランティア活動に積極的に携わって来ました。
福祉学科 渡壁寛	渡壁君は、ハンディーキャップをものともせず何事にも明るく真面目かつ積極的に取り組み優秀な学業成績を修めました。
福祉学科 黄焜輝	黄君は、本学において特に優秀な学業成績を修め、異文化の慣れない環境にも関わらず、他の学生の模範となりました。
健康スポーツ科学科 竹本佑	竹本君は、軟式野球部において常に中心選手として活躍するとともに、学業においても優秀な成績を修めました。
健康スポーツ科学科 中武大	中武君は、本学において特に優秀な学業成績を修め、他の学生の模範となりました。
経営学研究科 河村珠美	河村さんは本学において特に優秀な学業成績を修め、他の学生の模範となりました。

【奨励賞】

健康スポーツ科学科 宇称美希子	宇称さんは、女子バレーボール部において、常に中心選手として活躍し地区大会等で多くの賞を受賞しました。
健康スポーツ科学科 城山友樹	城山君は、男子バレーボール部において、常に中心選手として活躍し地区大会等で多くの賞を受賞しました。
健康スポーツ科学科 野地本太路	野地本君は、軟式野球部において常に中心選手として活躍しました。
健康スポーツ科学科 春名優一	春名君は、陸上競技部において地区大会はもとより全国大会においても活躍し同部躍進の原動力として尽力しました。
健康スポーツ科学科 藤島一樹	藤島君は、男子バレーボール部において、常に中心選手として活躍し地区大会等で多くの賞を受賞しました。



このたび、「学生表彰」として学長賞ならびに奨励賞が第11回学位記授与式で表彰された。

学長賞は「学業部門」「スポーツ部門」「文化部門」「社会活動部門」のいずれかにおいて、優れた成績及び活動をした者に授与されるものであり、8名が受賞、また、学長賞に次ぐ成績等を収めた者に授与される奨励賞として5名が受賞した。

それぞれの受賞者は、学位記授与式当日に田口学長から表彰状と副賞が手渡された。

入試情報



携帯電話から、
入試情報が見れるよ！

ホームページ
リニューアル
しました！

福山平成大学

検索

編集後記

広報委員長
新畑 茂充

今年度から広報委員会は、ホームページ部会と大学要覧、学報などの文章作成部会の二部会に分かれて活動しました。この学報などの部会では、今年度の第2報から新たに「みゆきレター」としてスタート。カラフルで、人目を引きやすく、読みやすいと好評でした。また、年間4報は今年度が初めてです。今回はご覧のように、学長、総長、学部長さんらの挨拶や卒業生のメッセージなどを中心に構成しています。ご感想をお聞かせいただければ幸いです。